



本号では、LMAG-Tokyo 総会とそれに続く講演、YPs・Student Branch・WIE との交流会、新たな IEEE Milestone 認定の記念講演会の模様などの記事をお届けします。

1. LMAG 総会での稲田浩一 Chair の挨拶

東京支部 LMAG (LMAG-Tokyo) は葉原耕平元 Chair のご尽力により 2010 年 10 月に発足して以来、満 4 年を経過致しました。その間、講演会の開催、見学会の実施、ニュースレターの発行など、精力的に活動してまいりました。

Life Member とは少なくとも 65 歳以上であることが一つの条件でありますから、どちらかという、第一線を卒業した人たちが多いわけではありますが、Affinity Group とは、会員同士の親睦をはかり、今までの豊富な経験を活かし、若い会員とも積極的に交流し、社会貢献、そして人類の幸福・繁栄に寄与することを目的とするボランティア活動グループでございます。

今年 1 月には LMAG-Tokyo は、新たに 60 名の会員をお迎えし、500 名を超える総勢となりました。アジア、パシフィック地域 (Region10) の LMAG として、圧倒的に大きな規模であり、日本の IEEE 会員が如何に活躍しているかがわかります。

このような趣旨を持つ LMAG-Tokyo の運営を、多田邦雄 前 Chair から引継ぎましたが、三木哲也 Vice Chair、高野 忠 Secretary と共に全力を尽くす覚悟でおります。LMAG-Tokyo の発展のため、ご支援の程、宜しくお願い申し上げます。



総会で挨拶する稲田浩一 Chair

2. 2015 年 LMAG 総会開催報告

2015 年東京支部 LMAG の総会は、3 月 20 日 (金) 14:00~14:30、機械振興会館 6 階 6D 会議室にて開催された。出席者は 27 名であった。稲田 Chair の上記挨拶の後、三木 Vice Chair から 2014 年の

活動報告が行われた。その中で、東京支部 TPC (Technical Program Committee) との共催による講演会を 7 回、交流会、見学会を実施し、News Letter を 4 回発行したことなどが報告された。

次に、2015 年の活動計画が 高野 Secretary から提案され、従来に引き続いて TPC、Student Branch、YPs (Young Professionals)、WIE などと連携した講演会や交流会を開催すること、見学会、懇親会、さらに国内他支部 LMAG との交流・連携について検討することが示され、承認された。

3. 総会後に中里秀則氏の講演

中里秀則氏 (早稲田大学教授、IEEE Japan Council SAC Chair) による「私の MGA 体験談」と題する講演が行われた。

まず IEEE における MGA (Member and Geographic Activities) と TAB (Technical Activity Board) の役割が説明された。論文発表では TAB にお世話になるが、IEEE の運営では MGA が大きな役割を担う。MGA は世界を 10 分割して、各 Region の特殊性を踏まえた施策を行う。ついで、Region 10 の会員状況や Region の役割が説明された。Region は配下の組織の支援やボランティアの育成を行う。

MGA には様々な常設委員会がある。その中で、Individual Benefits and Services Committee、Geographic Unit Operation Support Committee、IT Coordination and Oversight Committee、vTools Committee の活動とご自分の経験が紹介された。

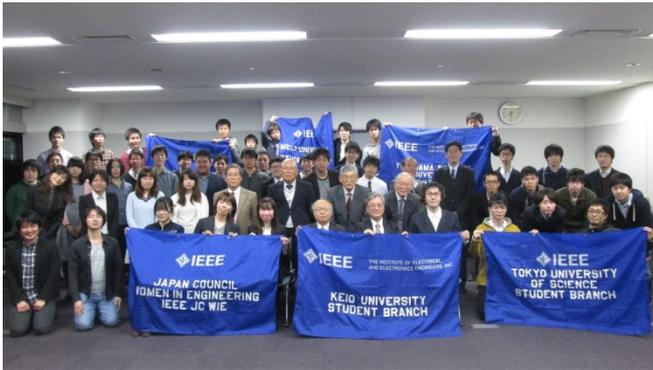
Individual Benefits and Service Committee では技術以外の会員へのベネフィットが検討されており、北米では保険が会員への動機付けとなっている。vTools Committee では vTools と呼ばれる IEEE ボランティアのための IT ツールを提供している。様々な vTools が紹介されたが、その中で会員であれば利用できる GoogleApps@IEEE について、メールサービスは gmail であり、Google ドライブとして 30GB が利用可能であると紹介された。

さらに中里氏は、日本における SAC (Student Activity Committee) 活動に言及し、全国で 26 の大学等に Branch が設置されていること、Student Branch Leadership Training Workshop などの活動を行っていることが紹介された。

4. LMAG/Student/YPs/WIE 交流会を開催

IEEE 東京支部の LMAG、Student Branch、YPs および IEEE Japan Council の WIE の 4 グループによる交流会が 4 月 18 日 (土) 15:00~17:00 に慶応大学日吉キャンパス来住舎大会議室にて開催され、参加者は 60 名ほどであった。

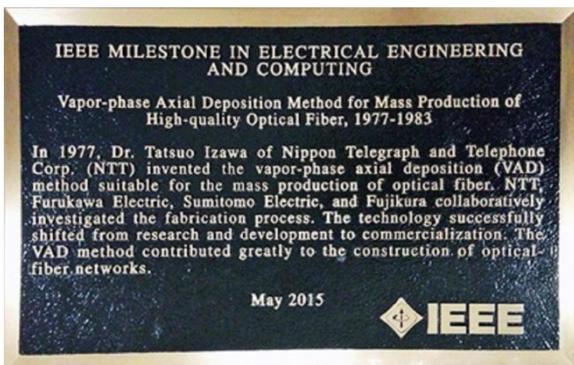
YPs から佐藤丈博氏 (慶応大)、鈴木真由美氏 (日立)、WIE から矢野絵美氏 (リコー)、石川佳寿子氏 (ピコサーム)、LMAG から竹中正氏 (東京理科大、名誉教授)、佐々木良一氏 (東京電機大) の各氏による、それぞれユニークな講演が行われた。それに引き続き懇親会が行われ、世代を越えての交流が行われた。



交流会の参加者

5. 高品質光ファイバの量産製造技術「VAD 法(気相軸付け法)」の IEEE Milestone 認定記念講演会

「VAD 法による光ファイバ量産製造技術」が IEEE Milestone に認定され、2015 年 5 月 21 日 (木) にパレスホテル東京にて Milestone 銘板の贈呈式が行われ、これにあわせて記念講演会が開催された。認定された技術は、1977 年に NTT 研究所の伊澤達夫氏が発明し、古河電工、住友電工、藤倉電線 (現フジクラ) との共同研究成果である。



「VAD 法」の IEEE Milestone 銘板

冒頭に、IEEE Japan Council History Committee Chair の白川 功氏より IEEE Milestone の概要が紹介され、続けて次の 2 つの記念講演が行われた。

最初は、VAD 法の発明者であり初期の研究に取り組んだ伊澤達夫氏 (現在、千歳科学技術大学理事長) の「VAD 法開発の経緯」と題する講演であり、1970 年前後の光ファイバの研究状況と VAD 法

の着想、乗り越えなければならなかった課題、実用化に至った経緯などが自らの経験に沿って述べられた。VAD 法の特徴は、コーニング社の外付け CVD 法やベル研究所の内付け CVD 法がいずれも同心円状に積層させ母材を作るのと異なり、光ファイバの軸方向に積層させることで、極めて大きい母材が生成できる点である。一方、高精度で均一な積層を実現する気相成長の制御、生成した母材を高純度にガラス化する技術など、困難な課題があった。研究所内にミニプラントを作って、実際の製造に即した試行錯誤によって VAD 法が実現した。そして、前述のケーブル企業 3 社との共同研究によって量産製造技術として VAD 法が確立された。

また、この技術が波及して平面光回路が実現し、今日の WDM 伝送を支えていることも言及された。

次に、住友電工の田中茂代表取締役・研究開発本部長による「VAD 法の実用化と普及」と題する講演が行われた。メーカー 3 社を代表して、と前置きして VAD 法の普及、VAD 法の特徴、光ファイバ網の拡充への対応、伝送技術革新への対応、さらに海外への展開について、最近に至るまでの状況が概説された。VAD 法の製造技術としての特徴は、原料から全合成が出来ることであり、大型化によるコスト低減、製造技術の高度化により高品質化・高精度化が図られたことである。VAD 法の海外展開も進み、現在では世界の約 60%が VAD 法による製造であり、特に中国では 75%とのことである。

会場を埋め尽くした参加者は 2 件の講演によって、VAD 法の黎明期から最新の産業動向までを総合的に把握することができた。

6. 近く開催される講演会等

東京支部 TPC と LMAG-Tokyo の共催により、下記 2 件の講演会等が近く開催されます。申し込みは東京支部事務局 <tokyosec@ieee-jp.org> まで。

6-1 無線通信関連の見学会と講演会

日時：2015 年 7 月 17 日 (金) 14:30~17:30

場所：電気通信大学

見学会：同大コミュニケーションミュージアム

講演会：①「Maxwell 方程式にまつわる話題」
小林岳彦氏 (東京電機大)

②「第 5 世代モバイル通信について」

尾上誠蔵氏 (NTT ドコモ)

6-2 IEEE Award 受賞記念講演会

日時：8 月 4 日 (火) 15:30-17:00 (予定)

場所：機械振興会館

演題：「自律分散概念から華厳世界観へ」

講師：井原廣一氏 (元日立製作所、知的社会システム研究開発機構)

IEEE Tokyo Section Life Members Affinity Group
Newsletter 2015 年 1 月 28 日発行 第 14 号
発行: IEEE 東京支部 Life Members Affinity Group
〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 517 号
E-Mail: tokyosec@ieee-jp.org